

【自由題・短歌】 一般の部



ともなり文芸大賞

包丁とトンカツの染み五十年思い潔しのれんをおろす

真岡市 上野 誠

ともなり文芸準大賞

母見舞いまめで暮らせと諭される孫はできても今も子供よ

真岡市 松浦 金三

ともなり文芸奨励賞

父のギター四十五年の時を経て娘の趣味へと受け継がれ

矢板市 小森 美由紀

【自由題・短歌】 一般の部

入 選

朝早く歩行困難筈の母句の野菜を配る早さよ

真岡市 洪井 令子

早生米を刈った田んぼのあちこちにイナゴ飛び交うとる人おらず

真岡市 松浦 金三

久しき娘ら思い出作りの四日間送り出し後の寂しき疲労

矢板市 小澤 和枝

老いの眼に大活字本は優しくて借り出す本に二冊加える

宇都宮市 古橋 正好

心不全夜半に苦しむベット脇亡母が寄られて優し眼ざし

真岡市 上野 民子